



文化財防火デー

■ 地震・津波に火事、政治

新年は元日早々、能登半島地震でおとそ気分はそこで終わってしまいました。現地の状況が徐々に明らかになるにつれ、家屋の倒壊、道路の損壊、火災、港の隆起など被害の大きさに驚かされました。電気、水道などのインフラも破壊され被災された人たちは未だ不自由な生活を強いられています。そのような中、雪にもみまわれ行方不明者の捜索も難航し、復旧活動も大変な状況だと思えます。

全国から、更に海外からも義援金の提供がなされていますが、JAMとしても義援金募集を開始しました。シニアクラブも賛同していますが、組織だって義援金を集める手段に乏しく、会員の皆様はそれにこだわることなく、世の中の様々な機会に協力してもらえればよいと思っています。一人ひとりの気持ちはどこの組織を通して地元にはしっかりと伝わることでしょ。

【巻頭写真について】 昭和24年1月26日に現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し壁面をはじめ貴重な文化財が焼失してしまいました。1月、2月は空気が乾燥し一年のうちでもっとも火災の多い時期です。この火災を機に文化財保護の機運が高まり、毎年1月26日を「文化財防火デー」として各地で防災訓練が実施されています。写真は中山法華経寺の様子です。幼稚園の子どもたちも加わり訓練を実施していました。

新年早々、地震やそれに伴う津波や火災、そして航空事故、訃報などが続いた中、この防火デーと同じ26日、第213通常国会が招集されました。

昨年後半からにわかに騒々しくなったのが**政治資金の裏金問題**です。政権の中核にいた自民党閣僚がこの問題で続々と交代し、さらには派閥を抜けたり派閥を解散したりとあわただしい動きを示していました。新年18日には岸田首相自らが自身の派閥解散を表明するにまで至っています。

人は「**3人寄れば2つの派閥ができる**」と言われています。一人の力より協力して物事に取り組む方が効果があることは確かであり、派閥形成そのものは悪ではないでしょう。ただ、派閥間での対立や、派閥内での隠し事はマイナス効果しかありません。

今回の問題は裏金です。一般人の常識からあまりにもかけ離れた多額の裏金を何に使ったのか、ただでさえ政治家には給与とは別の活動費が税金から支払われ、その領収証も不要という企業人から見ると全く金にルーズな体質が政治家全体に染み込んでいることが、問題の根本にあるようです。パーティーやキックバックも悪のごとき扱いになってしまった感じですが、**すべて明朗会計にすれば済むことだ**と思います。それでは政治ができないと言うなら、政治家をやめてもらって結構です。

世界が混とん化を増す中、今国会がこんなことで停滞するとしたら、政治家は総入れ替えでしょう。

■ Online 会合報告 (2024.1.22)

広重の浮世絵「東海道五十三次」の神奈川宿に描かれた茶屋の後はすぐ海になっています。



明治5年の鉄道開通時、その海に築いた土手の上を列車が走っていきました。今回は横浜駅の変遷、鉄道唱歌、今年のNHK大河ドラマ「光る君へ」の初回冒頭シーンの星占いの再現などが紹介されました。 <http://jvc-senior.com/20240122online.pdf>

■ SLIM 月面着陸



1月20日午前0:20(日本標準時)に小型月着陸実証機(SLIM)を月面に着陸させ、

地球との通信を確立させたとJAXAから発表がありました。今回のミッションは目標地点にピンポイント着陸させるということで、それは及第点だったと、しかし、本体は逆さまとなり太陽電池が作動していない状態なので、バッテリーが空になる前に一旦電源をオフにして今後太陽光がうまく当たるチャンスを捉えるべく挑戦していくとのことです。

かつて「はやぶさ1」の時に通信が途絶えてしまい、地上から必死に信号を送り続け、はやぶさのアンテナがたまたま地球に向けた瞬間に通信が再開、無事帰還できた時の話を思い出しました。今回はどうなるでしょうか。

昨年の小紙5月号で民間会社の月面着陸失敗の記事を書いています。 <http://jvc-senior.com/jkr0505v2.pdf> その中で、孤児になってしまったのではないかと余計な心配をした球体ロボットが、今回も積まれていました。変形月面ロボット(SORA-Q)を参照。

https://www.takaratomy.co.jp/product_release/pdf/p220315_02.pdf



今回は無事放出されましたが、親にとっては子に見られたくない残念な姿をさらす写真

を送ってきました。しかしこれは親の窮状を地球に伝えて救助を願う孝行息子の働きのようなのです。

【追申】子の願いは通じて1月28日夜に通信再開できたとのことです。親のもとに太陽光が届いたのでしょ。早く回復してよかったね～。

■ 今年は閏年、オリンピック開催の年

今年は4年に一度巡ってくる閏年で、2月が一日増えます。これを得したと思うか、損したと思うか人それぞれで様々でしょう。サラリーマンと同様、年金生活者してみると一日分の生活費が余計にかかるので損をしたと思う人もいるでしょう。一方で締め切りに追われて月末までにやらなければならないことがある人にとってみると、一日の余裕ができて良かったと考えるかも知れません。

だけど、もともと2月は短いのでそんなことは置いておいて、今年はオリンピックイヤーです。前回の東京オリンピックがコロナ禍の影響を受け開催が一年延期されたために今年のパリオリンピック迄の間隔がすごく短い感じです。

古代オリンピックでは、開催期間中すべての争いを中断して競技に臨んでいました。しかし現在の世情は極めて緊迫しています。ロシアのウクライナ侵攻が続きイスラエル・ハマスの争いは中東をますます不安定にさせています。このような中で、パリではテロに対する警戒を強化しようとしています。

写真はセーヌ川河岸に並ぶブキニスト(古本屋)のお店です。 <https://hermes.sbbt.co.jp/bouquiniste>



一見ごみ箱風に見えますが、ユネスコの世界文化遺産に登録された歴とした店舗です。ここに爆発物などが隠されないようにオリンピック開催期間中は一時撤去をすることが検討されていますが、多くの客が訪れる時期の撤去にブキニスト側はもちろんパリ市民からも反対が表明されています。

近代オリンピックの父と呼ばれるクーベルタン男爵は地元フランスで開催されるオリンピックなのに、その精神が踏みにじられていることを知ったらどんな気持ちになるでしょうか。

■ 事務局から

シニアクラブ事務局を置くJVCケンウッド労働組合の事務局が移転することになりました。会社が首都圏の事業所を新子安の本社に集中させるため、2月5日以降労組の新事務所は次の通りとなります。〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町 3-9-13 TVPビル2階 (電話/FAX 番号は変わりません)

事務局長 田代 周